



■工学プロジェクト（学内企業実習）

工学プロジェクトは、産学連携による実践型カリキュラムの1つです。

通常のインターンシップと違い、企業人が大学に出向き、学生が1日社員としてグループワークを行う科目で、企業から与えられた課題をグループで解決し、就業するために必要な能力を身に付けることを目的とします。

この授業にはテレビ局の取材が入っており、本学の特徴的な取組として紹介されました。

◆実習前指導

実習前指導では、この「工学プロジェクト」では何をめざしているかについての説明とブレインストーミング、KJ法といった創成活動の基礎を学ぶと共に、グループワークにおいて、挑戦・創造・コミュニケーションの経験を積みました。

今年度の実習前指導の課題は、「教育センターや図書館についての学生目線の提案」です。

マーケティングなどに関するショートレクチャーを受けた後、提案内容をまとめて、プレゼンテーションを行いました。



(1)グループ分け、役割決め…まずは自己紹介



(2)他グループの前でプレゼン



(3)次回の実習と、活動記録について説明

◆学内企業実習

参加した企業は、3社で、各社異なるテーマで実施しました。学生は、各社4チームに分かれ、課題に取り組んで、成果発表を行いました。

- 山勝電子工業株式会社 「製造業において、幾つかの事業所で各生産工程を行う場合に、納期遅延や不具合を発生させないためのルールを制定する。」



(1)アイデアをまとめてポスターを作成



(2)成果発表



(3)提案に対し企業講師の講評

- 株式会社創風システム 「自社製品の市場拡大戦略における、効率的な営業活動」



(1)企業講師からのアドバイス



(2)発表準備



(3)成果発表

- 二正蒲鉾株式会社 「トレー盛り商品を美味しく見せる」



(1)カタログや商品をよく見て分析



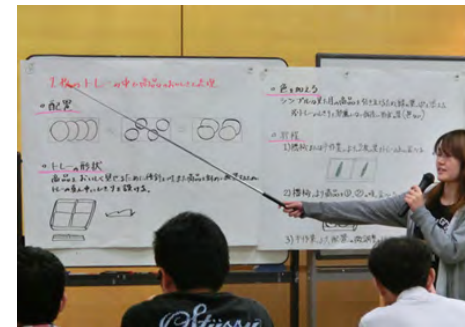
(2)ポスター作成、成果発表



(3)提案に対し企業講師の講評

●全体発表

各企業から選出された3グループが全体発表を行い、企業講師よりご講評いただきました。



(1)各企業から選出されたグループの発表



(2)質疑応答



(3)企業講師の講評

◆事後指導

「学内企業実習の活動でよかったこと」「学内企業実習で発表した内容で足りなかったもの」「学内企業実習で発表した内容をもっとよくするには、どうすればよかったか」についてグループ内で意見交換を行い、発表しました。



(1)宿題の報告、確認



(2)チームワークを発揮し、時間内に1枚のポスターに取りまとめ



(3)他グループの成果発表を相互確認

◆そして一言（藤木 一浩 教授／就業力育成事業部会 副部会長）



工学プロジェクトも今年で5年目となりました。活動の基盤となるグループは、学年及び学科をシャッフルしてメンバー編成を行っているので、学生達は、ほとんど初対面に近い状況で課題への取り組みをスタートすることになります。最初は何となくぎこちなかったディスカッションも、学内企業実習の当日には活発に議論する様子が見受けられ、学生達を頼もしく感じました。一方で、課題も増えて来ました。複数回履修して来ている学生や3、4年次生には、おのずとリーダーシップ等の役割が期待されることになります。これをいかに学生に自覚させ、さらに伸ばしていけるか…。今後も改善を図りながら、学生の人間力に磨きをかけていきたいと思います。

新潟工科大学 就業力育成事業部会（事務局：キャリア・産学交流推進課）
〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719 TEL:0257-22-8110 FAX:0257-22-8123
e-Mail: career-sangaku@adm.niit.ac.jp
職業人育成事業HP: <http://www.niit.ac.jp/SHUGYO/>
大学教育再生加速プログラムHP: http://www.niit.ac.jp/ap_business/